

Ver 1.0

オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に基づく  
温室効果ガス吸収プロジェクト申請書

プロジェクト名	釜石市緑のシステム創造事業
プロジェクト 代表事業者名	釜石地方森林組合 代表理事組合長 曾根 哲夫 印

提出日 平成 22 年 2 月 3 日

受理日 年 月 日

最終版提出日 年 月 日

A: 参加者情報			
プロジェクト代表事業者 ※1			
事業者名(フリガナ)	釜石地方森林組合 カマインチホウシンリンクミアイ		
住所	〒026-0021 岩手県釜石市只越町2丁目2番3号		
代表者氏名	代表理事組合長 曾根哲夫	担当者氏名	高橋 幸男
担当者所属		担当者役職	参事兼事業課長
担当者 E-mail	Kamamori07@kamamorikumi.jp	担当者電話番号	0193-22-1475
プロジェクト事業者 ※2			
事業者名(フリガナ)	同上		
住所			
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
その他プロジェクト参加者 ※3,4			
事業者名(フリガナ)	岩手県森林組合連合会 イワテケンシンリンクミアイレソウカキ		
住所	〒020-0021 岩手県盛岡市中央通3丁目15番17号		
代表者氏名	代表理事会長 佐々木良一郎	担当者氏名	平野裕幸
担当者所属	企画管理部	担当者役職	調査役
担当者 E-mail	Iwamori3@echna.ne.jp	担当者電話番号	019-654-4411
プロジェクトでの役割	内部監査役		
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者 ※5			
事業者名(フリガナ)	釜石地方森林組合 カマインチホウシンリンクミアイ		
オフセット・クレジット (J-VER)口座番号 ※6			

- ※1:プロジェクト代表事業者のパンフレット等、事業内容の説明資料を別途添付すること。代表者以外の主なプロジェクト参加者についてもパンフレット等を添付すること。
- ※2:プロジェクト事業者とは、当該プロジェクトの実施に携わる者のうち、実際に温室効果ガス排出削減・吸収活動を実施する者を指す。代表者と同一の場合は、その旨を記載すること。
- ※3:その他プロジェクト参加者とは、プロジェクト代表事業者・プロジェクト事業者以外に当該プロジェクトの実施に携わるすべての者を指す。たとえば、下記が参加者として想定される。
- ・ 温室効果ガス排出削減・吸収活動のとりまとめを行う者
- ※4:プロジェクト参加者が複数いる場合には、それぞれの参加者の役割及び関係の概要を説明した資料を添付すること。
- ※5:オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者は、プロジェクト参加者(代表者、プロジェクト事業者、その他)のうちいずれかであること。
- ※6:オフセット・クレジット(J-VER)口座番号は、口座未取得の場合は記入不要。

## B:プロジェクト活動の概要①

B.1

項目

プロジェクト活動

### B.1.1 プロジェクトの目的及び内容

#### 【背景】

- ・当森林組合管内は、釜石市・大槌町の一市一町からなり、総面積 64 千 ha のうち 89%に当たる 54 千 ha を森林が占めており、私有林面積は 38 千 ha で 45%の 17 千 ha が人工林である。
- ・また、当管内はわが国近代製鉄発祥の地として、また、三陸漁場の中心港として「鉄と魚のまち」として発展してきたが、昭和 38 年をピークに基幹産業である鉄鋼業の合理化・水産業は、公海の漁業規制や資源の減少、魚価の低迷、後継者不足などの厳しい環境により、人口は半減した。
- ・一方森林資源は豊富で、全体の 7 割が戦後植林され成熟期を迎えているものの長引く木材価格の低迷により林業生産活動が停止、雇用の不安定から林業従事者の減少、高齢化が問題となり、管理不十分な森林が増加した。

表 1 当管内林齢別森林資源構成表

区分			2以下	3~4	5~6	7~8	9	小計	10~	計
人工林	針	スギ	面積 135.89	872.30	1,113.28	2,017.65	1,398.13	5,537.25	3,422.53	8,959.78
			蓄積 1889	102613	278966	782548	701030	1,867,046	2,105,505	3,972,551
	葉	ヒノキ	面積 15.50	81.74	137.10	35.85	4.75	274.94	1.84	276.78
			蓄積 259	5205	18114	8153	1442	33,173	1,128	34,301
	樹	アカマツ	面積 14.40	96.37	593.11	2,001.96	1,289.37	3,995.21	1,578.19	5,573.40
			蓄積 0	37811	116541	523482	406833	1,084,667	520,458	1,605,125
	樹	カラマツ	面積 3.87	375.97	536.40	102.10	80.92	1,099.26	471.79	1,571.05
			蓄積 16	43722	97994	20750	17758	180,240	109,082	289,322
	樹	その他	面積 0.00	0.03	2.20	1.74	0.00	3.97	4.58	8.55
			蓄積 0	2	550	705	0	1,257	3,364	4,621
	計		面積 175.66	1,426.41	2,382.09	4,159.30	2,773.17	10,843.98	5,478.93	16,389.56
			蓄積 2,214	189,375	512,436	1,335,917	1,127,295	3,167,237	2,739,537	5,905,920
広葉樹	ナラ	面積 4.39	1.98	3.21	1.93	0.06	11.57	2.42	13.99	
		蓄積 120	119	216	248	9	712	401	1,113	
	計	面積 2.02	13.94	69.57	15.33	5.70	106.56	28.18	134.74	
		蓄積 28	760	6449	2090	773	10,100	4,029	14,129	
計	面積 185.50	895.84	445.59	539.21	516.93	2,516.41	30.60	148.73		
	蓄積 363	9,272	53,882	130,924	165,085	359,526	4,430	15,242		
合計	面積 108.44	1,442.33	2,454.87	4,176.56	2,778.93	10,961.13	5,509.53	16,538.29		
	蓄積 2,312	190,232	518,830	1,337,976	1,127,845	3,177,195	2,743,967	5,921,162		

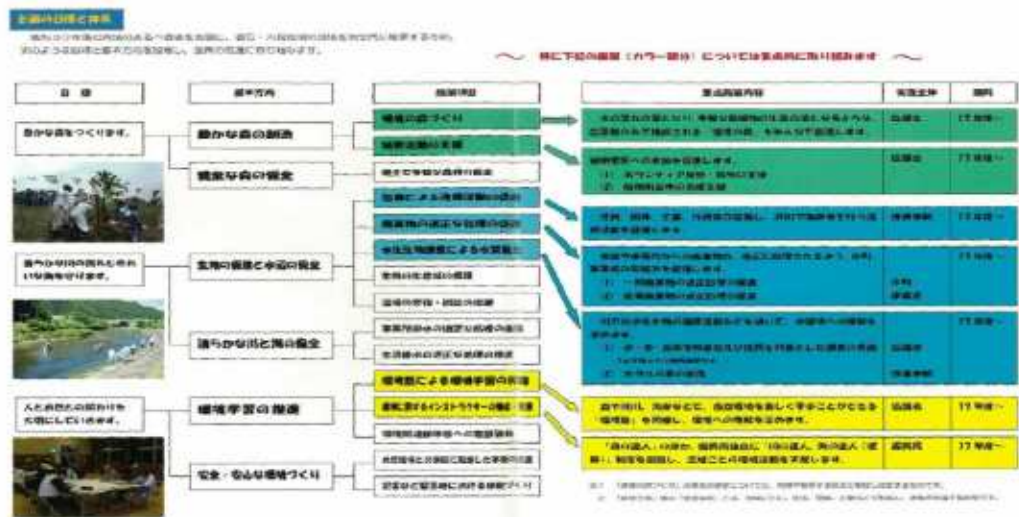
表 2 林業従事者の推移

### 釜石市の概要から

平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	17/12年
122	107	77	46	59.70%

・このような中、平成 14 年 7 月 10 日から 11 日に三陸沖を北上した台風 6 号は、当地域に大雨をもたらし、不幸にも放置森林から流れ出した土石流が尊い 2 名の命を奪った。また、各地の河川が氾濫、増水し海域への大量の古損木等が流入するなど甚大な被害をもたらした。このような被害をなくすべく、山・川・海の関係各位が一同に介し「山・川・海環境保全連絡協議会」を設立し、川清掃・植樹活動等々ボランティア活動を展開し、常に環境の保全について話し合える環境が整い、公益的機能を増進する森林管理が求められるようになった。

図1「山・川・海環境保全連絡協議会」計画と体系



・このような状況を踏まえ、平成 16 年以降には「健康な森づくり推進隊」を結成し、小規模森林各所有者へ「森林診断書」に基づく施業提案書を提示し、利用間伐中心の森林管理活動を進めてきた。 図 2



・森林所有者は環境保全の重要性は認識しているものの、木材価格の低迷により資産価値をなくした森林への投資が難しい状況下にある。

【目的】

- ・上述のとおり利用間伐を中心に森林の整備を中心に行ってきたが、木材価格の低迷が伐採地の更新を困難なものにして、森林所有者の山離れ・林業従事者の激減という課題を抱えている。
- ・本プロジェクトは 2004 年以降小規模の森林所有者を中心に協同した団地 475.35ha(釜石・平田地区 323.14ha,甲子地区 152.21ha)において実行してきた利用間伐を中心とした森林管理を通じて、温室効果ガスの吸収量の増大を図る。
- ・本プロジェクトにより発行される J-VER を当組合で管理することにより、その収益を伐採跡地の更新・保育間伐作業等に負担金として充当する等、協同組合の精神から相互扶助することとする。こうした財源確保により、森林所有者が安心した森林管理・保全を進めることが可能となる。
- ・また、提案型施業集約化と森林施業計画の確実な実行が、事業量の安定・拡大を生み、森林所有者の持続可能な森林経営が行われるようになる。さらに、森林作業が拡大されることで、高性能林業機械の効率的な導入、新規就労者の受け入れ態勢が構築され、逼迫する当地域の雇用情勢が改善されるといった、山村地域の振興を図る。

### B.1.2 プロジェクト実施前の状況

プロジェクト実施前の森林の概況を表 3-1、表 3-2 に示す。当プロジェクト対象地は市内を中心に流れ出す甲子川流域の急峻な森林であり河口には、三陸漁場の港である釜石湾へと繋がる場所である。当対象地は、平成 14 年の台風 6 号が甚大な被害をもたらした。このような被害がなくなるよう、山・川・海の関係各位が一同に介し「山・川・海環境保全連絡協議会」が設立された。これをきっかけに、常に地域の環境保全について話し合える場ができ、公益的機能を増進する森林管理が求められるようになった。

しかしながら、地域住民の要望、森林所有者の環境への意識の向上とは裏腹に、木材価格の低迷が保育間伐作業の停滞をもたらした。

こうした中、適切な森林施業の実行を目指し、森林管理にかかる費用を J-VER 収益で負担できれば、炭素固定機能はもちろんのこと様々な効果が期待できる。

表 3-1 釜石地区林齢別森林資源構成表(森林施業計画より抜粋)

		(釜石団地)								
区分		1~2	3~4	5~6	7~8	9	小計	10~	計	
人 工 林	針	スギ	面積 0.10	24.66	29.71	57.30	125.60	237.37	0.00	237.37
		蓄積 4	3,611	8,329	22,465	60,238	94,647	0	94,647	
	葉	ヒノキ	面積 0.00	18.36	6.30	0.13	0.00	24.79	0.03	24.82
		蓄積 0	1,489	731	22	0	2,242	0	2,242	
		アカマツ	面積 0.00	10.64	7.80	16.48	23.34	58.26	0.00	58.26
		蓄積 0	1,054	1,530	4,582	6,632	13,798	0	13,798	
		カラマツ	面積 0.00	0.53	0.97	0.00	0.39	1.89	0.00	1.89
		蓄積 0	47	198	0	93	338	0	338	
	樹	その他	面積 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		蓄積 0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	面積	0.10	54.19	44.78	73.91	149.33	322.31	0.03	322.34	
	蓄積	4	6,201	10,788	27,069	66,963	111,025	0	111,025	
広 葉 樹	ナラ	面積 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	蓄積 0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	面積 0.25	0.00	0.42	0.13	0.00	0.80	0.00	0.80	
	蓄積 0	0	0	56	19	0	75	14	89	
計	面積	0.25	0.00	0.42	0.13	0.00	0.80	0.00	0.80	
	蓄積	0	0	56	19	0	75	14	89	
合計		面積 0.35	54.19	45.20	74.04	149.33	323.11	0.03	323.14	
		蓄積 4	6,201	10,844	27,088	66,963	111,100	14	111,114	

表 3-2 甲子地区林齢別森林資源構成表(森林施業計画より抜粋)

(甲子団地)			1~2	3~4	5~6	7~8	9	小計	10~	計	
人 工 林	針 葉 樹	スギ	面積 蓄積	0.15 0	4.83 455	7.82 2,268	33.76 13,517	50.66 26,715	97.22 42,955	0.47 227	97.69 43,182
		ヒノキ	面積 蓄積	0.00 0	7.85 572	2.92 448	0.17 31	0.69 163	11.63 1,214	0.00 0	11.63 1,214
		アカマツ	面積 蓄積	0.00 0	0.00 0	4.29 1,056	27.89 6,791	4.25 1,419	36.43 9,266	0.00 0	36.43 9,266
		カラマツ	面積 蓄積	0.00 0	0.74 108	2.91 549	0.00 0	0.42 105	4.07 762	0.00 0	4.07 762
		その他	面積 蓄積	0.00 0	0.91 67	0.28 39	0.00 0	0.00 0	1.19 106	0.00 0	1.19 106
		計	面積 蓄積	0.15 0	14.33 1,202	18.22 4,360	61.82 20,339	56.02 28,402	150.54 54,303	0.47 227	151.01 54,530
		広 葉 樹	ナラ	面積 蓄積	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	その他	面積 蓄積	0.00 0	0.50 24	0.37 21	0.00 0	0.00 0	0.87 45	0.00 0	0.87 45	
	計	面積 蓄積	0.00 0	0.50 24	0.37 21	0.00 0	0.00 0	0.87 45	0.00 0	0.87 45	
	合計	面積 蓄積	0.15 0	14.83 1,226	18.59 4,381	61.82 20,339	56.02 28,402	151.41 54,348	0.47 227	151.88 54,575	

B.1.3 排出削減・吸収の達成手段

- ・提案型集約化施業による森林の団地化を進め、年あたり40ha 程度の間伐を行う。
- ・また、高性能林業機械を導入によりコストの削減に努めるとともに、列状・定性間伐複合式の間伐システムの確立をして木材生産を行いながら、森林の公益的機能を高める。
- ・さらに、伐採跡地の更新を適切に行いつつ、確実に森林施業計画に基づいた適正な森林管理を行う。
- ・このほか、製造業と連携により、石炭代替燃料として林地残材の一部使用が始まる事から、J-VER に加え、林地残材の販売により、森林所有者の森林整備に対する関心を高め、さらなる森林整備の推進に繋げる。

B.2 採用技術

プロジェクトで使用する設備・機器等

面積測量 牛方式ポケットコンパス S-25トラコン  
 胸高直径の測定 林尺  
 樹高の測定 VERTEXIV トランスポンダーT3 (ホグロフ社)

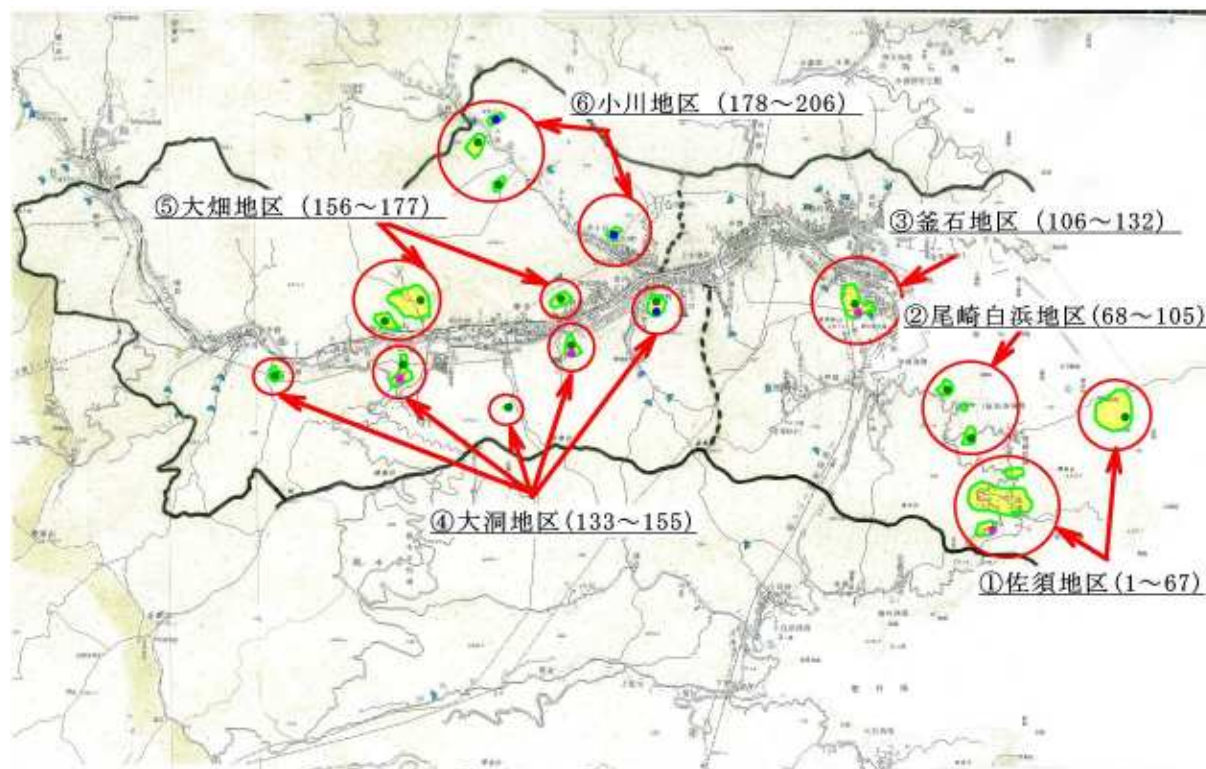
チェンソー ハスクバーナ 357XPG  
 プロセッサ- イワフジ Gp-45A プロセッサ-  
 フォワーダ イワフジ U-6B  
 グラップル イワフジ GS90LJV  
 10tトラック ISUZU (PDG-CYZ77Q8 型) 木材運搬用車  
 植物性オイル YS バイオチェーンオイル トリプル E (ヤナセ製油株式会社)

列状・定性間伐複合作業システム  
 ※列状間伐を主体としながら、定性間伐を積極的に加えていく手法であり、バランスの取れた林分を形成する。

B.3 プロジェクト 実施場所	実施事業所名	釜石市 民有林 釜石地区、甲子地区
	住所	<p>本プロジェクトは「森林施業計画、釜石地区及び甲子地区の民有林を対象とし、本プロジェクトに賛同し覚書の締結をした森林について立地する住所は以下のとおりである。</p> <p>釜石地区          岩手県釜石市大字平田佐須          岩手県釜石市大字平田尾崎白浜          岩手県釜石市大字平田          岩手県釜石市大字釜石</p> <p>甲子地区          岩手県釜石市甲子町大洞          岩手県釜石市甲子町大畑          岩手県釜石市甲子町小川</p>

岩手県釜石市 釜石地区、甲子地区を構成する林分は、大部分が11～45年生の人工林である。

図3 釜石市 釜石地区、甲子地区の位置図



概要

写真1 市街地(甲子川から釜石湾)





B:プロジェクト活動の概要②							
B.4 プロジェクト期間		2010年 2月 5日 ~2013年 3月 31日 ( 3年 1ヶ月)					
B.5 クレジット期間 ※1		2010年 2月 5日 ~2013年 3月 31日					
B.6 想定排出削減 ・吸収量 ※2	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	1,845	2,294	2,294	2,294	2,294	11,021
B.7 モニタリング報告の頻度		2009年度モニタリングを実施した後、間伐終了時行う。					
B.8 補助金	受給の有無 (いずれかに○)	受給している / 申請中 / 検討中 / 受給しない					
	補助事業名称	里山エリア再生交付金事業外2事業					
	補助金額 (申請額含む)	32,237,078円					
	補助対象年月日	平成17年 3月 25日 ~平成21年 6月 26日					
	補助金を受給している ことを証明する書類	資料 1-S 補助金受給履歴参照のこと。					
B.9 他制度への申請 ※3	申請の有無 (いずれかに○)	有 / 無					
	制度名 (有の場合のみ)						
備考	<p>(プロジェクトの排出削減・吸収量やプロジェクトの実施に影響を与える現在もしくは将来的なリスク要因(例えば森林火災、気象災害、病虫害やこれらに伴う排出量がプロジェクトの吸収量を上回るリスクなど)を特定し、影響の軽減措置を記述すること。)</p> <p>山火事の危険性の高い時期(毎年3月末から5月末)には山火事ボランティア活動に積極的に参加し森林の巡視と山火事予防等呼びかける。また、森林施業の実施の際等、不定期ではあるが森林を巡視する。</p>						

※1: クレジット期間は、2008年4月1日~2013年3月31日の間で設定すること。

※2: 想定排出削減・吸収量の算定根拠をモニタリングプランで提示すること。

※3: 海外の VER 制度や都道府県等のCO2吸収量認証等、類似制度への申請の有無を記入。これは、一つのプロジェクトによる排出削減・吸収量に基づくクレジットが複数創出される等の、ダブルカウントを避けるためである。

C:方法論の適用		
C.1 ポジティブリストの 適格性基準 との整合性	C.1.1 ポジティブリストの番号	No. R. <u>002(JRAM002)</u>
	条件	説明 ※1
	C.1.2 条件1	本プロジェクト対象森林は、 ・森林法第 5 条に該当する森林であり、市町村森林整備計画の対象に含まれている森林であり森林法第 11 条に基づく森林施業計画に認定を受けている(森林施業計画については、添付資料を参照されたい)。
	C.1.3 条件2	本プロジェクト対象となる森林は、 ・添付する森林施業計画書の対象範囲をベースにしたプロジェクトである。 また、森林施業計画に示す通り、クレジットの発行対象期間において当該プロジェクト実施森林において間伐及び主伐を計画しており、その方法(伐採量・伐採間隔等)は森林の成長量等に基づいており、認定された森林施業計画に基づく。また、対象森林は全て民有林であるが、森林所有者との覚書を締結しており、クレジット対象期間において土地転用を行う予定はない。 さらに、2004 年以降に実施された間伐及び主伐等の施業はスギ・ヒノキ・アカマツ・カラマツ人工林(育成林)を対象にしており、施業履歴についてはモニタリングプランに添付する資料を参照されたい。 以上のことから、対象森林は条件2を満たしている。
C.1.4 条件3	本プロジェクト対象森林は、 ・条件1で示したとおり、対象する森林は森林法第 11 条に基づく森林施業計画の認定を受けた森林であり、森林施業計画で示す長期的な計画に基づいている。 以上より、対象森林は条件3を満たしている。	
C.2 適用方法論	方法論番号	JRAM 0002
	方法論名称	森林経営活動による Co2 吸収量の増大(持続可能な森林経営促進型プロジェクト)方法論

C.3 適用するガイドライン等	C.3.1 ガイドライン等への準拠	<p>(オフセット・クレジット(J-VÉR)制度モニタリング方法ガイドラインに準拠しない場合の説明)</p>						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="550 376 791 421">準拠の説明</th> <th data-bbox="791 376 1398 421">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="550 421 791 472"> <input type="checkbox"/> 全く準拠しない                 </td> <td data-bbox="791 421 1398 472"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 472 791 524"> <input type="checkbox"/> 一部準拠しない                 </td> <td data-bbox="791 472 1398 524"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 524 791 573"> <input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する                 </td> <td data-bbox="791 524 1398 573"></td> </tr> </tbody> </table>	準拠の説明	説明	<input type="checkbox"/> 全く準拠しない		<input type="checkbox"/> 一部準拠しない	
準拠の説明	説明							
<input type="checkbox"/> 全く準拠しない								
<input type="checkbox"/> 一部準拠しない								
<input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する								
		<p>注) 全て準拠する場合は、説明は不要。</p>						

	<p>C.3.2 ガイドライン等が複数ある場合の選択</p>	<p>(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインのモニタリングパターンを選択する場合)</p> <table border="1" data-bbox="550 369 1410 1478"> <thead> <tr> <th data-bbox="550 369 705 465">モニタリングパラメータ</th> <th data-bbox="705 369 946 465">モニタリングパターン</th> <th data-bbox="946 369 1410 465">選択の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="550 465 705 616">活動量</td> <td data-bbox="705 465 946 616"> <input type="checkbox"/> 森林 GIS  <input checked="" type="checkbox"/> 実測                 </td> <td data-bbox="946 465 1410 616">                     森林施業に対する補助金受給の際に対象地を実測しており、その面積に基づく。                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 616 705 1003">拡大係数</td> <td data-bbox="705 616 946 1003"> <input type="checkbox"/> 実測  <input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等                 </td> <td data-bbox="946 616 1410 1003">                     「京都議定書 3 条 3 及び 4 の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書(資料 4-A)」に示された値を使用する。                      理由: UNFCCCへ提出している国家インベントリで使用している拡大係数等であり、入手可能なデータのうち、最も信頼できると考えられる。                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 1003 705 1478">収穫予想表</td> <td data-bbox="705 1003 946 1478"> <input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)  <input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)                 </td> <td data-bbox="946 1003 1410 1478">                     「岩手県民有林分蓄積表、岩手県民有林適用現実林分収穫表等作成業務報告書及び収穫予想表作成に関する基礎調査書(資料 4-B)」に示された値を使用する。                      理由: 岩手県で作成された地域の特性を踏まえた収穫予想表であり、入手可能なデータのうち、最も信頼できると考えられるため。                 </td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 選択理由の説明においては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。</p>	モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由	活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS <input checked="" type="checkbox"/> 実測	森林施業に対する補助金受給の際に対象地を実測しており、その面積に基づく。	拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測 <input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	「京都議定書 3 条 3 及び 4 の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書(資料 4-A)」に示された値を使用する。 理由: UNFCCCへ提出している国家インベントリで使用している拡大係数等であり、入手可能なデータのうち、最も信頼できると考えられる。	収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等) <input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)	「岩手県民有林分蓄積表、岩手県民有林適用現実林分収穫表等作成業務報告書及び収穫予想表作成に関する基礎調査書(資料 4-B)」に示された値を使用する。 理由: 岩手県で作成された地域の特性を踏まえた収穫予想表であり、入手可能なデータのうち、最も信頼できると考えられるため。
モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由												
活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS <input checked="" type="checkbox"/> 実測	森林施業に対する補助金受給の際に対象地を実測しており、その面積に基づく。												
拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測 <input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	「京都議定書 3 条 3 及び 4 の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書(資料 4-A)」に示された値を使用する。 理由: UNFCCCへ提出している国家インベントリで使用している拡大係数等であり、入手可能なデータのうち、最も信頼できると考えられる。												
収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等) <input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)	「岩手県民有林分蓄積表、岩手県民有林適用現実林分収穫表等作成業務報告書及び収穫予想表作成に関する基礎調査書(資料 4-B)」に示された値を使用する。 理由: 岩手県で作成された地域の特性を踏まえた収穫予想表であり、入手可能なデータのうち、最も信頼できると考えられるため。												
<p>C.4 プロジェクトが実施されなかった場合の状</p>	<p>C.4.1 ベースラインシナリオの特定</p>	<p>(プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)の説明)</p> <p>森林を適切な状態に保つために必要な間伐・主伐・植栽が 1990 年以降実施されていない状態。</p>												

態(ベースラインシナリオ)	(ベースラインシナリオ特定に使用したデータの信頼性・入手可能性)	
	データの信頼性・入手可能性	説明
	<input type="checkbox"/> 低い	
	<input checked="" type="checkbox"/> 低くない	
(森林施業計画通りに施業を実施しない可能性に関する情報)		
施業計画通りに実施しない可能性	説明	
<input type="checkbox"/> 可能性がある		
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない		
(プロジェクトの対象である森林が転用される可能性に関する情報)		
転用の可能性	説明	
<input type="checkbox"/> 可能性がある		
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない		

C.4.2BLS に 関連した温 室効果ガス 排出源・吸収 源の特定		(温室効果ガス排出源・吸収源)						
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">温室効果ガス排出源・吸収源</th> <th style="width: 40%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源</td> <td>地上部バイオマス、及び地下部バイオマス</td> </tr> <tr> <td>上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源	説明	森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス、及び地下部バイオマス	上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	なし
	温室効果ガス排出源・吸収源	説明						
	森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス、及び地下部バイオマス						
	上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	なし						
	リークージに関しては、以下のリストから該当するものがあればボックスにチェックを入れること。また、チェックしたリークージは、モニタリングプランにおいて定量化すること。							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">リークージの種類</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加                 </td> <td>なし、現時点ではそのような活動は想定できない。</td> </tr> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加                 </td> <td>なし、現時点ではそのような活動は想定できない。</td> </tr> </tbody> </table>	リークージの種類	説明	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	なし、現時点ではそのような活動は想定できない。	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	なし、現時点ではそのような活動は想定できない。	
リークージの種類	説明							
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	なし、現時点ではそのような活動は想定できない。							
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	なし、現時点ではそのような活動は想定できない。							
	(温室効果ガス排出源・吸収源を特定するために使用した追加的な基準)							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準</th> <th style="width: 40%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 使用</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 使用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明	<input type="checkbox"/> 使用		<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない		
温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明							
<input type="checkbox"/> 使用								
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								

C.5 排出量・吸収量の定量化	C.5.1 不確かなデータの使用	(吸収量の定量化における不確かなデータの使用)	
		不確かなデータの使用 <input type="checkbox"/> 使用する <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	説明 (不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)
C.5 排出量・吸収量の定量化	C.5.2 モニタリング対象とならない排出源・吸収源	(モニタリングプランを作成する上で、モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源が存在する)	
		モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源 <input type="checkbox"/> 存在する <input checked="" type="checkbox"/> 存在しない	説明
C.6 備考		(モニタリングポイントの設定方法に関する記述) 当プロジェクトのモニタリングポイント(予定)については資料 3-3 に示す。実際にモニタリングを行う際は、その際の森林の概況を踏まえ、モニタリングポイントを変更する可能性がある。また、モニタリング方法ガイドラインで示された方法に従って行う。	

※1: ポジティブリストの条件を全て満たすことを、証拠書類等をもとに説明する。説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。

D:その他		
D.1 関連する許認可及び関連法令	(想定される関連法令等については、別紙「プロジェクト申請方法について」を参照のこと)	
	No.	関連法令
	1	森林・林業基本法
	2	森林法
	3	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法 (間伐等促進法)
	4	種の保存法
	5	鳥獣保護法
	6	騒音規制法
	7	景観法
	8	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
9	環境影響評価法	
注 3 森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法については、当釜石市では現在対象とはなっておらず、平成 22 年 3 月末を目指し計画策定中である。		
D.2 ステークホルダー (森林所有者、森林管理者、森林管理費用負担者等)のコメント	<p>本プロジェクトは小規模森林所有者からのご理解のもと、民有林を対象としたものであり、当森林組合の地区座談会を通じ、覚書締結を基に、オフセット・クレジット(J-VER)制度への申請が了承されている。</p> <p>小規模森林所有者の協同であり、木材価格低迷の影響により資産価値をなくした森林をオフセット・クレジット(J-VER)制度を活用することにより、改めて森林の持つ他面的機能をたかめ、協同組合精神である相互扶助を将来に繋げ、地域の環境整備並びに地域山村の振興としたい。</p>	
D.3 その他特記事項	<p>本プロジェクトは、オフセット・クレジット(J-VER)制度を利用した地域振興であるとともに、森林に対する地域住民への啓発活動である。</p> <p>森林を核とした、環境保全(災害防止等)・地域雇用拡大を目指した地域貢献活動の一環であると捉えている。</p>	